製麺機

品番：MC100

取扱説明書

一般家庭用

（業務用として使用しないでください）

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書は必要なとき、すぐに取り出せるように大切に保管してください。
この取扱説明書をよく読んで理解してから、本製品を使用してください。

目次

安全上のご注意 ー必ずお守りくださいー

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

●本書で使用しているマークについて

本書で使用しているマーク（絵表示）と意味は、次の通りです。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、死亡や重傷に至る恐れがある内容を表します。
⚠ 注意	傷害（けが）や物的損害（故障など）の原因となる内容を表します。

	絶対に行わないでください。		必ず指示にしたがって、行ってください。

	修理技術者以外の人は、修理しないでください。 また、改造は行わないでください。

本製品の使用にあたっては、警告･注意に書かれている事を守り、事故が発生しないよう心がけてください。また、本製品の使用者・管理者は、本製品の内容を理解していない方に操作させないでください。

●取り扱いについて

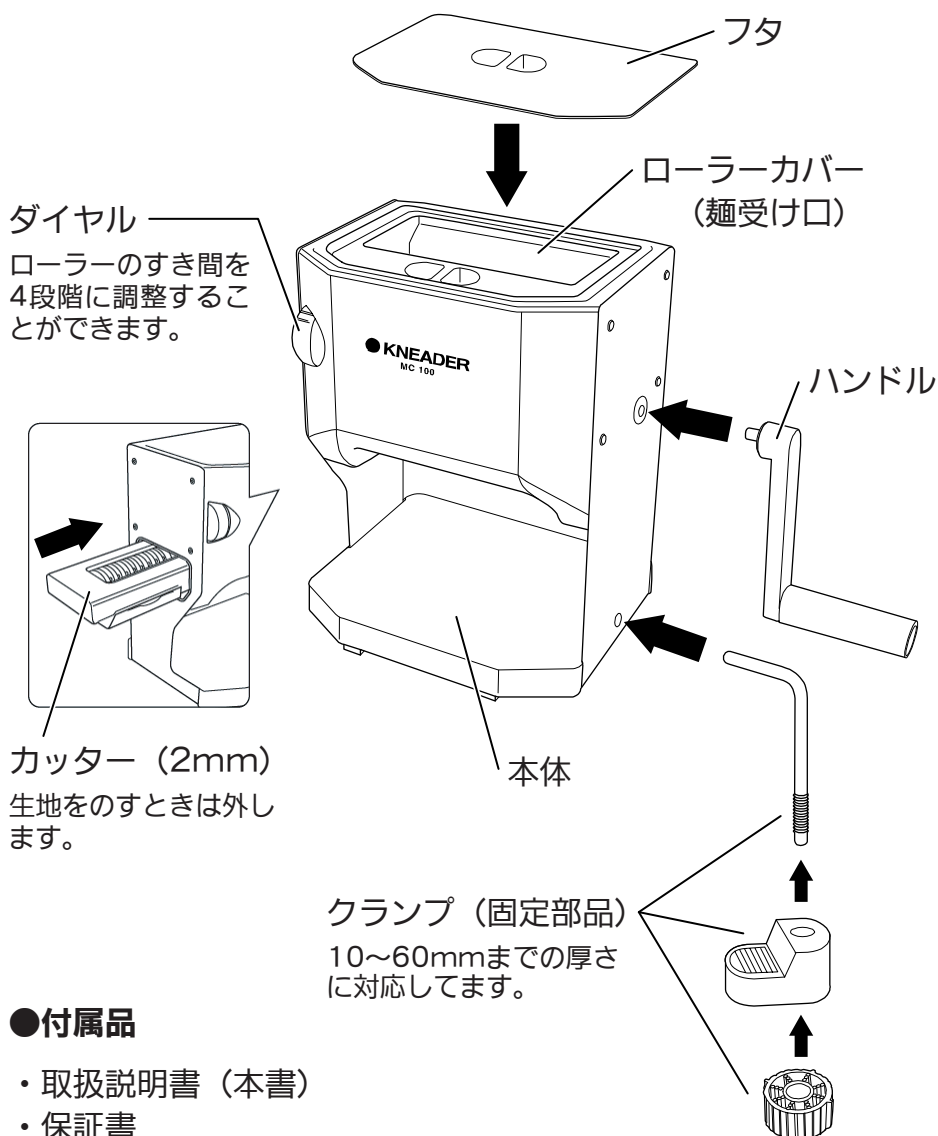
⚠ 警　告	
	分解や改造をしない 分解や改造をすると、けがや故障の原因になります。

⚠ 注　意	
	不安定な場所や、粉・油で汚れた机の上では、絶対に使用しない 本製品の落下・横転により、けがをする恐れがあります。必ず水平かつ安定した状態で使用してください。また、本製品の脚の裏側も使用前にふくことをおすすめします。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
!	**作動中は絶対に可動部に指を入れないでください。**
!	**可動部に指や髪の毛や衣服などをはさまれないように注意してください。**
!	**プラスチック袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。**
!	**洗浄後はよく乾燥させてください。**
!	**食器洗い機で洗わないでください。**

各部の名称と機能

●主要部分の名称

●付属品

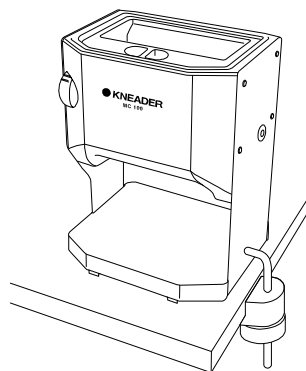
・取扱説明書（本書）
・保証書

麺切り手順

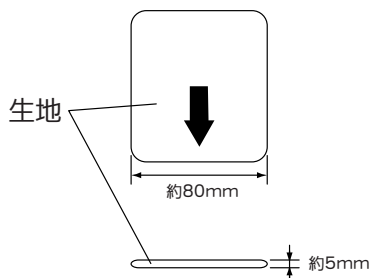
注意

・カッターに水分がついた状態では使用しないでください。生地がつまる場合があります。
・ハンドルが回らないときは、部品・材料をセットし直してから使用してください。無理に回すと破損する場合があります。

1　本体を固定する。

本体が落下・横転しないよう、クランプで安定したテーブルなどにしっかりと固定してください。

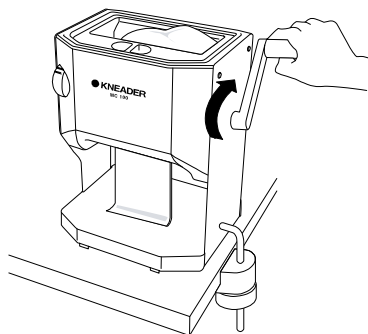
※クランプは、10～60mmまでの厚さに対応してます。

2　生地を約50gに分け、のし棒などで伸ばして形を整える。

生地の両面にたっぷり打ち粉をしてください。

3 ダイヤルを「4」にセットし、カッターが入っていないことを確認する。

4 生地をのす。

打ち粉をした生地を麺受け口から入れ、
ゆっくりとハンドルを回してください。

Point!

生地がやわらかすぎるとローラーにつまる場合があります。その場合は打ち粉の量を増やしてください。

5 お好みの厚さに生地をのす。

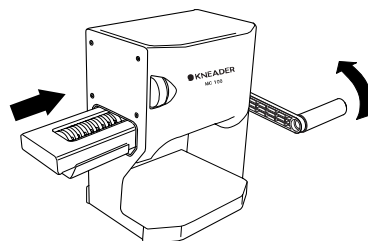
ダイヤルは「4」から徐々に小さくし、
お好みの厚さにしてください。

ダイヤル	厚さ
4	約2.5mm
3	約2mm
2	約1.5mm
1	約1mm

Point!

のす回数を多くすると、かための麺ができます。

6 カッターをセットする。

ハンドルを回しながら、奥まで押し込みます。

7 のした生地にしっかり打ち粉をする。

8 生地を切る。

生地を麺受け口から入れ、ゆっくりとハンドルを回します。

※ハンドルを速く回して切ると、麺の形がふぞろいになる場合があります。

注意 Point!

カッターに生地がつまったときは、カッターを分解せずに水にしばらくつけておき、流水で生地を取ってから分解してください。生地が取れたら水分を完全に取り、乾燥させてから使用してください。水分が残った状態で使用すると、生地がカッターにつまる場合があります。

使用上の注意とお願い

- ハンドルを回しているときに異常なかたさや音を感じたときは、回転を中止し、ローラーカバーを外して内部に異物が入り込んでいないか点検してください。
- ローラーに巻き付いたときは、ローラーカバーを外し、生地をひっぱりながら逆転させ、生地を取り出してください。
- 生地以外のものを入れないでください。
- 必要以上に逆回転させないでください。

お手入れ

●お手入れは、使用ごとにこまめに行ってください

注意

・ベンジン、シンナー、磨き粉、たわし、ナイロンたわしなどは、表面を傷つけますので、使わないでください。
・生地の洗いカスは、直接流しに捨てないでください。粉の固まったものは水に溶けにくいので、パイプなどの詰まる原因になります。
・洗浄後はよく乾燥させてください。
・食器洗い機で洗わないでください。

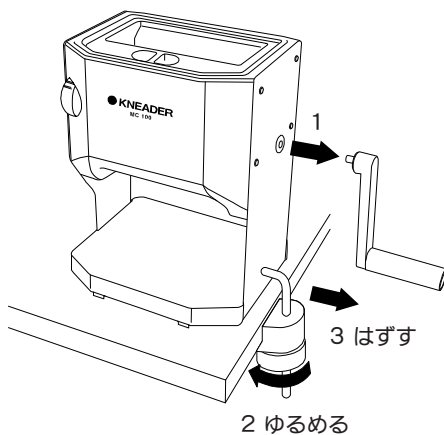
●**本体**

1 フタ、ローラーカバー、カッター、ハンドル、クランプをそれぞれ外す。

2 本体、フタ、ローラーカバーを水洗いする。

・水洗いのあとは、かたくしぼった布でふき取り、最後に必ずからぶきしてください。
・汚れがひどいときは、食器用中性洗剤をスポンジや布に含ませて、軽くこすってから水で洗い流してください。

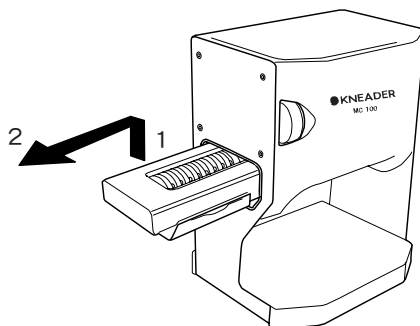
●ハンドル、クランプ

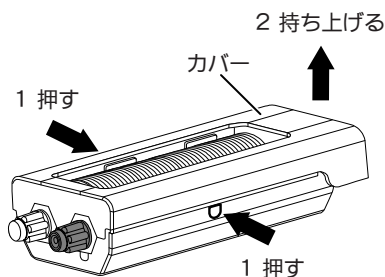
1 ハンドル、クランプの順に外す。

2 ハンドル、クランプを、乾いた柔らかい布で軽くふき取る。

・汚れがひどいときは、柔らかい布を水でぬらしてから、かたくしぼってふき取り、最後に必ずからぶきしてください。

●カッター

1 カッターを外す。

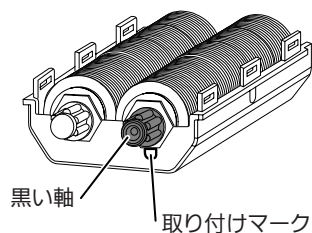
カッターを持ち上げながら本体から引き出します。

2 カッターを分解する。

カッターの中央を両側から押しながら、カバーを持ち上げて外し、カッターを取り出します。

3 カッターを水洗いする。

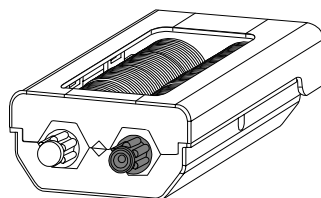
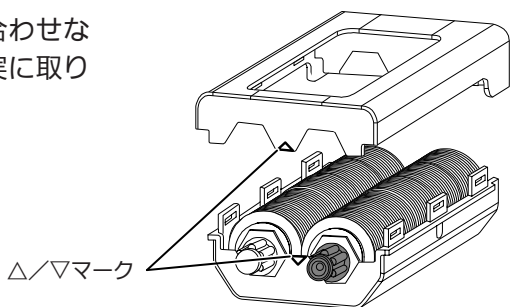
歯ブラシ等を使って粉や残りカスを取り除いてください。汚れがひどいときは、食器用中性洗剤をスポンジや布に含ませて、軽くこすってから水で洗い流してください。

※洗浄後はよく乾燥させてください。

4 カッターを取り付ける。

カッターの黒い軸を取り付けマークに合わせながら取り付けます。

5 カッターのカバーを取り付ける。

カバーの△マークと▽マークを合わせながら、パチンと音がするまで確実に取り付けます。

△／▽マーク

アフターサービスについて

修理・お取り扱い・部品ご購入などについてのご相談は、当社サポートデスクまでお問い合わせください。

●保証期間について

保証期間は、お買い上げから1年間です。

- **保証期間中の修理**
  保証書の記載内容により、当社サポートデスクで対応致します。
- **保証期間後の修理**
  修理すれば使用できる製品は、お客様のご要望により、有償にて修理致します。

●補修用性能部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。

- **性能部品**…その製品の機能を維持するために必要な部品です。

〈当社サポートデスク〉

・電話番号：**0120−481−484**（フリーダイヤル）

※受付時間：9:00〜17:00　月〜金曜日（土・日曜、祝日、弊社休業日を除く）

・ホームページ：**http://kneader.jp**

仕様

主な仕様は以下のとおりです。

外形寸法（幅x奥行きx高さ）	170×140×220mm
質量	約2.0 kg

日本ニーダー株式会社

〒104−0054
東京都中央区勝どき6丁目3番2−5417
http://kneader.jp

602A50002−93P−001